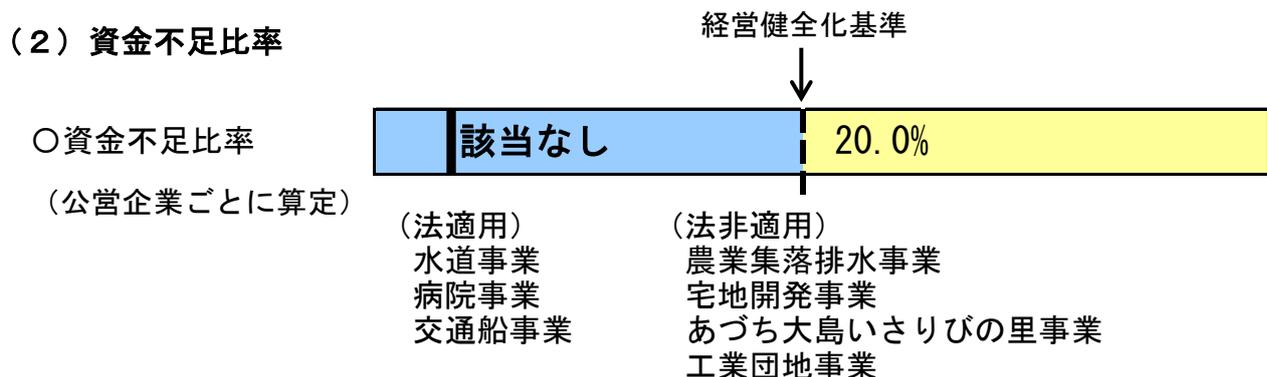
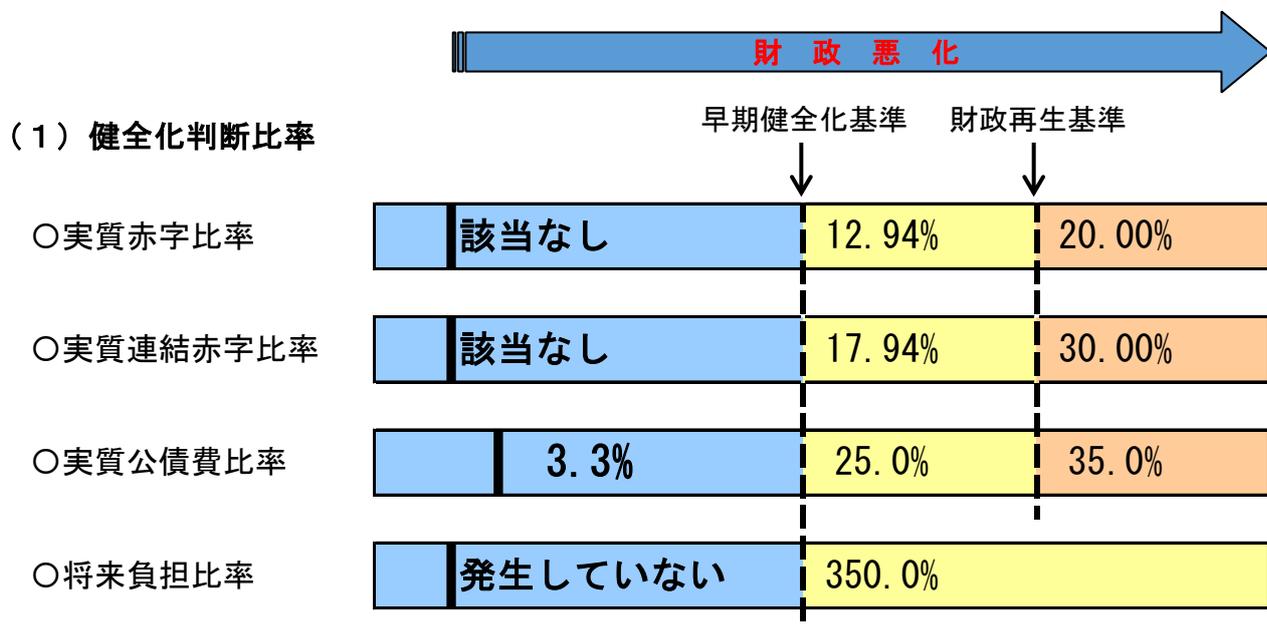


令和5年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の公表について

1 平戸市の健全化判断比率等の状況



2 各指標からみる平戸市の財政状況について

- 健全化判断比率のうち、一般会計での実質赤字比率、特別会計及び公営企業会計を含めた連結実質赤字比率については、令和4年度と同様に黒字となっていることから該当していません。
実質公債費比率は3.3%で、令和4年度の1.7%と比べ1.6ポイント増加しています。
将来負担比率は、令和4年度と同様に発生しておらず、いずれの指標も一定の良好な状況を保っています。
- 実質公債費比率が増加した主な要因は、過疎債などの元金償還金の増加、並びに財源対策債（一般公共事業債分）及び合併特例債など公債費に係る基準財政需要額として普通交付税に算入された額の減少によるものです。
また、将来負担比率は、市債償還額を大きく下回る市債発行に伴う市債残高の減少、及び充当可能財源である財政調整基金などの基金残高が確保されていることで発生していません。
一方で、合併特例債や臨時財政対策債の残高の減少により、充当可能財源である普通交付税への算入見込額が減少していることで、今後、将来負担比率の増加が懸念されます。
- 今後も、これらの指標を注視しながら健全な財政運営に努めてまいります。

○健全化判断比率（地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項関係）

（単位：％）

比率名	R05	R04	R03	R02	R01	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	—	—	—	—	12.94	20.00
連結実質赤字比率	—	—	—	—	—	17.94	30.00
実質公債費比率	3.3	1.7	1.5	3.0	4.7	25.0	35.0
将来負担比率	—	—	—	—	—	350.0	

※ 実質赤字額、連結実質赤字額が又は将来負担額がない場合は、「—」と表示される。

○資金不足比率（地方公共団体の財政の健全化に関する法律第22条第1項関係）

（単位：％）

特別会計名	R05	R04	R03	R02	R01	経営健全化基準	備考
水道事業会計	—	—	—	—	—	20.0	令第17条第1号の規定により事業の規模を算定
交通船事業会計	—	—	—	—	—	20.0	令第17条第1号の規定により事業の規模を算定
病院事業会計	—	—	—	—	—	20.0	令第17条第1号の規定により事業の規模を算定
農業集落排水事業特別会計	—	—	—	—	—	20.0	令第17条第3号の規定により事業の規模を算定
あづち大島いさりびの里事業特別会計	—	—	—	—	—	20.0	令第17条第3号の規定により事業の規模を算定
宅地開発事業特別会計	—	—	—	—	—	20.0	令第17条第4号の規定により事業の規模を算定
工業団地事業特別会計	—			—	—	20.0	令第17条第4号の規定により事業の規模を算定

※ 資金不足額がない場合は、「—」と表示される。

■実質赤字比率と連結実質赤字比率、資金不足比率

(単位：千円)

会計区分	会計名	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		令和元年度		
		実質収支額 (資金不足・剰余額)	資金不足比率									
一般会計等 ①	一般会計	471,087	/	586,174	/	633,988	/	131,369	/	296,387	/	
公営事業	法適②	水道事業会計	1,184,759	—	1,236,813	—	1,323,367	—	1,107,970	—	1,073,885	—
		交通船事業会計	191,240	—	213,660	—	227,630	—	206,634	—	176,043	—
		病院事業会計	1,612,555	—	1,427,204	—	1,224,878	—	950,578	—	747,384	—
	法非適③	農業集落排水事業特別会計	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—
		あづち大島いさりびの里事業特別会計	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—
		宅地開発事業特別会計	0	—	50,937	—	50,937	—	59,571	—	64,093	—
		工業団地事業特別会計	0	/	/	/	/	/	0	—	0	—
①②③ 以外の会計 (特別会計)	国民健康保険特別会計	41,518	/	58,018	/	23,978	/	22,127	/	95,755	/	
	後期高齢者医療特別会計	2,413	/	1,733	/	850	/	67	/	797	/	
	介護保険特別会計	125,572	/	84,170	/	36,548	/	109,755	/	148,227	/	
	駐車場事業特別会計	0	/	0	/	0	/	0	/	0	/	
合計		3,629,144	/	3,658,709	/	3,522,176	/	2,588,071	/	2,602,571	/	

実質赤字比率 (%)	—	△3.59	—	△4.43	—	△4.66	—	△1.00	—	△2.27
連結実質赤字比率 (%)	—	△27.69	—	△27.70	—	△25.92	—	△19.75	—	△20.01

■実質公債費比率

(単位：千円)

項目	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	R05-R02	影響 (pt)	
地方債の元利償還金（繰上償還を除く）	A	3,010,342	2,997,835	2,821,777	2,826,636	3,009,374	183,706	0.6
地方債の元利償還金に準ずるもの	B	418,536	414,468	343,012	307,719	407,630	110,817	0.4
公営企業地方債償還のための繰入金		352,801	349,583	321,914	305,773	351,048	47,028	0.2
一部事務組合地方債償還のための負担金		64,533	63,875	20,063	683	55,192	63,850	0.2
公債費に準ずる債務負担行為		1,202	1,010	1,035	1,222	1,355	△20	0.0
一時借入金利息		0	0	0	41	35	△41	0.0
控除財源等		2,865,886	3,031,186	3,066,663	3,065,499	3,119,530	△199,613	0.6
元利償還金に充当する特定財源	C	75,909	77,754	78,234	87,393	92,028	△11,484	0.0
元利償還金に要する経費として普通交付税の基準財政需要額に算入された額	D	2,789,977	2,953,432	2,988,429	2,978,106	3,027,502	△188,129	0.6
標準財政規模	E	13,103,856	13,205,256	13,584,048	13,102,154	13,001,916	1,702	0.0
標準税収入額等		3,750,054	3,661,132	3,527,719	3,651,398	3,516,945	98,656	0.0
普通交付税		9,298,758	9,420,054	9,584,716	9,087,056	9,097,660	211,702	0.0
臨時財政対策債発行可能額		55,044	124,070	471,613	363,700	387,311	△308,656	0.0

実質公債費比率（単年度）	5.45859	3.71755	0.92610	0.68012	2.98237	4.77846
実質公債費比率（3カ年平均）	3.3	1.7	1.5	3.0	4.7	0.3

【実質公債費比率】＝

$$\frac{\{(A+B) - (C+D)\} \square}{(E-D)} \times 100$$

■将来負担比率

(単位：千円)

将来負担額	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	R5-R4	影響 (pt)
地方債残高	24,703,826	25,707,706	26,722,624	26,851,738	26,020,994	△1,003,880	△9.7
債務負担行為に基づく支出予定額	0	0	0	0	0	0	0.0
土地改良区等への補助金	0	0	0	0	0	0	0.0
公営企業債等繰入見込額	2,500,032	2,686,680	2,793,010	2,863,931	3,048,921	△186,648	△1.8
水道事業会計	2,053,564	2,129,648	2,162,311	2,214,105	2,280,294	△76,084	△0.7
交通船事業会計	37,908	45,668	52,050	0	0	△7,760	△0.1
病院事業会計	340,847	440,726	501,389	579,070	625,904	△99,879	△1.0
農業集落排水事業特別会計	36,901	43,359	49,698	55,919	62,025	△6,458	0.0
工業団地事業特別会計	3,682	0	0	0	73,355	3,682	0.0
国民健康保険特別会計	27,130	27,279	27,562	14,837	7,343	△149	0.0
組合等負担等見込額（北松北部環境組合）	623,514	687,472	750,716	770,105	770,105	△63,958	△0.6
退職手当負担見込額	2,966,723	2,980,694	3,064,656	3,078,946	3,183,731	△13,971	△0.2
設立法人の負債額等負担見込額	30,554	10,863	11,595	12,265	13,170	19,691	0.2
長崎県林業公社	30,554	10,863	11,595	12,265	13,170	19,691	0.2
合計 (A)	30,824,649	32,073,415	33,342,601	33,576,985	33,036,921	△1,248,766	△12.1

充当可能財源等	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	R5-R4	
充当可能基金	15,183,541	14,957,334	14,090,984	12,844,083	12,555,020	226,207	△2.2
充当可能特定歳入	864,100	906,525	964,389	1,024,658	702,929	△42,425	0.4
国庫支出金等	22,038	25,513	29,042	33,184	37,283	△3,475	0.0
企業会計等貸付金元利収入	300,000	300,000	300,000	300,000	0	0	0.0
公営住宅使用料	428,151	470,658	514,438	557,137	535,312	△42,507	0.4
都市計画税	113,911	110,354	120,909	134,337	130,334	3,557	0.0
基準財政需要額算入見込額	19,472,645	20,637,335	22,180,646	23,806,257	23,497,155	△1,164,690	11.3
合計 (B)	35,520,286	36,501,194	37,236,019	37,674,998	36,755,104	△980,908	9.5

標準財政規模 (C)	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	R5-R4	
標準税収入額等	3,750,054	3,661,132	3,527,719	3,651,398	3,516,945	88,922	0.4
普通交付税	9,298,758	9,420,054	9,584,716	9,087,056	9,097,660	△121,296	△0.6
臨時財政対策債発行可能額	55,044	124,070	471,613	363,700	387,311	△69,026	△0.3
算入公債費等の額 (D)	2,789,977	2,953,432	2,988,429	2,978,106	3,027,502	△163,455	0.7

(A) - (B) ① △4,695,637 △4,427,779 △3,893,418 △4,098,013 △3,718,183 △267,858

(C) - (D) ② 10,313,879 10,251,824 10,595,619 10,124,048 9,974,414 62,055

将来負担比率 ①/②*100	—	—	—	—	—	—	
	△45.5	△43.1	△36.7	△40.4	△37.2	-2.4	